

# 中高連携だより 第2号

郡上北高校と白鳥中学校の「連携型中高一貫教育」がスタートして、今年度で6年目となりました。この取り組みを皆様幅広く知っていただくために、「中高連携だより」を発行し、配布させていただきます。

## 白鳥中学校で「先輩に学ぶ会」を実施しました

12月17日(木曜日)に、本校3年生が講師を務める「先輩に学ぶ会」が白鳥中学校で行われました。講師となった高校生は、白鳥中学校の卒業生です。郡上北高校で学業や部活動、生徒会活動などに打ち込んでいることを紹介しました。また、「高校は義務教育ではないので、将来の目標をもって自分から進んで取り組むことが大切だ。」と語りかけ、卒業後の進路目標を実現するために、勉強と部活動を両立させ、資格を取得するために粘り強く取り組んだなど、自らの体験談を交えて紹介しました。高校生の先輩から話を聞いた中学1年生と2年生から、次のような感想がありました。

「高校は義務教育でなく、自分で意欲をもって勉強に取り組まないといけないことがわかりました。今日の話聞いて高校生になるイメージがもてたような気がします。」

「先輩の話聞いて“自分から”を大切にしていきたいです。勉強はもちろん部活や生徒会活動など友達を大切に、今の中学校生活を充実させていきたいです。」

## 来年度も「公民館応援隊」をよろしくお願いします。

今年度は“公民館応援隊”として、中学生と高校生が一緒になって白鳥町内の各地域の夏祭りや運動会などのボランティア活動に参加させていただきました。白鳥地域公民館の重点目標に「世代を超えた交流を実現し、つながりを深める」とあります。郡上北高校と白鳥中学校の生徒会が連携し合って、中高生が地域行事に積極的に参加し、地域を盛り上げていきたいと思っております。これからも中高生へのご声援とご協力をよろしくお願いいたします。



平成28年3月

発行元：岐阜県立郡上北高等学校

## 連携型中高一貫教育「第2回評価委員会」を開催しました

2月18日(木曜日)郡上地区連携型中高一貫教育評価委員会が郡上北高校で行われました。評価委員会は、中高PTA役員、学校評議員、地域住民代表、町内小学校長代表、岐阜県教育委員会、郡上市教育委員会によって組織され、今年度の活動報告を行いました。各委員さんから今後の取組について次のようなご意見をいただきました。

- ・連携事業の一つ一つは良いが、将来にわたって中高連携教育としてつながっているか。中高連携のねらいや目的をはっきりとさせて一本太い筋のようなものが必要ではないか。
- ・中学校2年生の保護者に「進学で実績を上げている」というアンケートについて肯定的な回答は15%だった。ここ数年の北高の実績はすばらしい。教職員が前向きで頑張ってみえるが、小中学校の保護者に伝わっていない。
- ・広報活動も積極的に行っているが、アピール内容をはっきりさせて伝えたい。地域の高校に気をかけている人が多いので、少しでもきっかけがあれば良い評価が広がっていく。地域の高校生が公民館活動などで活躍していることも、携わっていない人には知られていない。
- ・北高は少人数で授業ができ、きめ細かく見てもらえる良さがある。大変落ち着いて授業に取り組んでいた。企業から与えられた課題に対して自分たちの考えをプレゼンテーションを通して、生徒が見事に発表していた。
- ・つつじヶ丘の同じ場所に中高があって、兄弟のような心安い関係で、キャリア教育や官民連携を進めてしていきたい。地域の生徒は地域で育てるという認識で、高校生には地域で活躍してほしい。中高連携を地域と一緒に取り組んで白鳥の地域に根付かせていきたい。
- ・中高連携の成果は確実に上がってきている。卒業生の活躍をはじめ、今の高校生も授業をしっかり聞いて真面目に取り組んでいる。もっとできる生徒たちだと思う。北高の少人数授業を極め、一人一人を鍛えていってほしい。

評価委員さんからいただいたご意見をもとにして、中高連携活動が一層充実していくように、次年度も取り組んでいきたいと考えています。今後のご声援をよろしくお願いいたします。